

上映タイムテーブル

※上映後トーク開催予定日(会場等の追加や変更がある場合は、公式サイト・ホームページで最新情報を確認ください)
 ※トークは30分程度を予定しております(トークがある日は上映前に本場編が先行します)

| | | | | |
|--------|-----------------------------|--|---|---|
| 16 SAT | 13:05~15:00 珈琲時光 | 15:15~17:00 東京画 | 17:15~18:45 都市とモードのビデオノート | 19:00~20:14 IGUANA TOKYO <small>★カーン・ミュージジ(IGUANA TOKYO/監督)</small> |
| 17 SUN | 12:45~14:20 二郎は鮨の夢を見る | 14:35~16:00 IGUANA TOKYO | 16:15~18:10 ロスト・イン・トランスレーション | 18:25~20:15 TOKYO! |
| 18 MON | 12:45~14:30 書かれた顔 | 14:45~16:35 TOKYO EYES | 16:50~18:33 珈琲時光 <small>★一青窈(珈琲時光/出演)</small> | 19:20~20:45 IGUANA TOKYO |
| 19 TUE | 13:20~14:45 IGUANA TOKYO | 15:00~17:00 ライク・サムワン・イン・ラブ | 17:15~19:00 東京画 | 19:15~20:45 都市とモードのビデオノート |
| 20 WED | 13:55~15:40 神々の山嶺 | 15:55~17:20 IGUANA TOKYO | 17:35~19:30 ロスト・イン・トランスレーション | 19:45~20:45 不思議なクミコ |
| 21 THU | 13:30~14:30 不思議なクミコ | 14:45~16:45 TOKYO! | 17:00~18:25 IGUANA TOKYO | 18:40~20:15 神々の山嶺 |
| 22 FRI | 13:45~15:10 IGUANA TOKYO | 15:25~17:00 二郎は鮨の夢を見る | 17:15~19:00 書かれた顔 | 19:15~20:40 IGUANA TOKYO |
| 23 SAT | | 15:15~16:40 IGUANA TOKYO | 16:55~18:25 都市とモードとビデオノート | 18:40~20:40 ライク・サムワン・イン・ラブ |
| 24 SUN | | 15:25~16:25 あなたの東京、わたしの東京 <small>★藤淵慶、宮澤賢(ホームムービー)</small> | 17:10~18:35 IGUANA TOKYO | 18:50~20:40 TOKYO EYES |
| 25 MON | | 15:15~17:00 書かれた顔 | 17:15~18:15 不思議なクミコ | 18:30~20:12 ロスト・イン・トランスレーション |
| 26 TUE | | 15:00~16:25 IGUANA TOKYO | 16:40~18:40 TOKYO! | 18:55~20:40 神々の山嶺 |
| 27 WED | | 15:15~16:50 二郎は鮨の夢を見る | 17:05~18:30 IGUANA TOKYO | 18:45~20:40 珈琲時光 |
| 28 THU | | 14:50~16:15 IGUANA TOKYO | 16:30~18:20 TOKYO EYES | 18:35~20:07 東京画 <small>★三浦哲哉(批評家)</small> |
| 29 FRI | | 15:00~16:25 IGUANA TOKYO | 16:40~18:25 書かれた顔 | 18:40~20:40 ライク・サムワン・イン・ラブ |

上映協力:(五十音順)シネマトリックス、松竹、東京テアトル、東北新社、トランスフォーマー、バンドラ、ピタース・エンド、ロングライド

上映期間
2024. 3.16 SAT ~ 3.29 FRI

ユーロスペース
EUROSPACE

<http://www.eurospace.co.jp>
渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 3F
03-3461-0211

【入場料金】
 一般:1,600円/大学・専門学校生:1,300円/会員・シニア:1,300円
 高校生:800円(オンラインは900円)/中学生以下:500円(オンラインは600円)
 特別上映「あなたの東京、私の東京」は500円均一

【割引サービス】
 毎月1日 映画サービスデー(1月のみ2日に実施):1,100円均一
 火曜サービスデー:1,200円均一
 障害者割引:1,000円(付添いお一人様まで有効)
 夫婦50割引:お二人で2,400円

ユーロスペース劇場HPでは3日前から各回開始1時間前まで座席指定券が購入できます。
 (各種クレジットカードのみ、詳しくはユーロスペース劇場HPを確認ください。)

映画に愛される街

TOKYO!

—アート・キッチュ・エキゾチズム—



いつの時代も人々を惹きつけてやまない東京/TOKYO。洋の東西を問わず、この街に魅せられた多くの映像作家たちが東京を舞台にバラエティに富んだ作品を生み出してきました。あらゆるものを貪欲に取り込み、変化し続ける東京は元来、多様性を体現してきた街でもあります。映画の中で東京/TOKYOという街が被写体・背景としてどのように描かれてきたのかを改めて見つめることは、街の魅力を再発見すると共に、東京で暮らし、あるいは憧れを抱いてきた自らを見つめ直すことにも繋がるのではないのでしょうか。“文化の坩堝”とも称される渋谷の地で、世界中の映画を上映し続けてきた日本で最も長い歴史を誇る独立系映画館のスクリーンに、いつかの自分を見つけてみませんか。



監督:カアン・ミュジデジ
出演:エルタン・サバーン、
サーデー・アクソイ、
デニス・ウルクほか
原題:IGUANA TOKYO
2022年/74分
トルコ・日本・ドイツ合作
配給:トリクスタ

【日本初公開】

IGUANA TOKYO –イグアナ トウキョウー

長編デビュー作『シーヴァス 王子さまになりたかった少年と負け犬だった闘犬の物語』でヴェネツィア国際映画祭審査員特別賞を受賞したトルコの俊英カアン・ミュジデジが紡ぎ出すサスペンススリラー。東京で幸せに暮らしていたはずの一家が、ゲームを通じてメタヴァースの世界に足を踏み入れたことから奇妙な出来事に巻き込まれ始め、やがて崩壊へと向かうさまをベットのイグアナの視点から巧みに描き出す。

© COLOURED GIRAFFE/trixta/ASTEROS



監督:アッバス・キアロスタミ
出演:奥野匡、高梨臨、加瀬亮ほか
原題:Like Someone in Love
2012年/109分
日本・フランス合作
配給:ユーロスペース

ライク・サムワン・イン・ラブ

『友だちのうちはどこ?』、『桜桃の味』のイランの巨匠で2016年に76歳で逝去したアッバス・キアロスタミによる人間ドラマで2011年に日本で撮影が行われた。84歳の元大学教授の男性、彼の元に派遣されたデートクラブでアルバイトをする女子大生、彼女の恋人の3人の愛と欲望と嘘が絡み合い、繊細なドラマが綴られていく。映画タイトルと同じジャズ・スタンダード『Like Someone in Love』(エラ・フィッツジェラルド)が劇中でも使用されている。

© mk2/Eurospace



監督:ジャン＝ピエール・リモザン
出演:武田真治、吉川ひなの、
杉本哲太、水島かおり、
大杉漣ほか
原題:Tokyo Eyes
1998年/98分
日本・フランス合作
配給:ユーロスペース

TOKYO EYES

世紀末の東京を舞台に、謎めいた発砲事件を起こし続ける青年と彼に惹かれる少女の姿をスタイリッシュな映像と音で描く。フランス人のジャン＝ピエール・リモザンが監督を務め、共同脚本に坂元裕二も名を連ねている。カルト的人気を博した『NIGHT HEAD』の武田真治とモデル・女優・歌手の吉川ひなのという、当時絶大な人気を誇っていた2人が主演を務め、事件の鍵を握るヤクザをビートたけしが演じ、渋谷や下北沢でロケが行われた。



監督:クリス・マルケル
出演:村岡久美子
原題:Le mystère Koumiko
1965年/47分
フランス
配給:パンドラ

不思議なクミコ

後世の映像作家に大きな影響を与えた時間と記憶をめぐるSF短編映画『ラ・ジュテ』で知られる作家、映画監督、写真家、マルチメディアアーティストのクリス・マルケルによる実験的ドキュメンタリー。1964年10月の東京オリンピックで賑わう、高度経済成長のさなかの日本を舞台に、フランス語を学ぶ20代の日本人女性・クミコの姿を追いかける。武満徹の「弦楽のためのレクイエム」が音楽として使用されている。

© La Sofra



監督:パトリック・インバート
原作:「神々の山嶺」作・夢枕獏 画・
谷口ジロー (集英社刊)
原題:LE SOMMET DES DIEUX
日本語吹き替えキャスト:堀内賢
雄、大塚明夫、逢坂良太、今井麻美
吹替翻訳:光瀬憲子
2021年/94分
フランス・ルクセンブルグ合作
配給:ロングライド、東京テアトル

神々の山嶺

「孤独のグルメ」などの傑作漫画で知られ、2017年にこの世を去った漫画家・谷口ジローが夢枕獏のベストセラー山岳小説を漫画化した『神々の山嶺』をフランス映画界でアニメーション化した。『ジョージ・マロリーはエベレスト登頂に成功したのか?』という山岳界の謎に迫りつつ、2人の日本人登山家が過酷なエベレストに挑むさまを描き出す。本国フランスで大ヒットを記録し、セザール賞の長編アニメーション映画賞を受賞した。

© Le Sommet des Dieux - 2021 / Julianne Films / Folivari / Mélusine Productions / France 3 Cinéma / Aura Ciném



監督:ホウ・シャオシェン
出演:一青窈、浅野忠信、
萩原聖人、余貴美子、
小林稔侍ほか
原題:珈琲時光
2003年/103分
日本
配給:松竹

珈琲時光

小津安二郎の生誕100年を記念して2003年に製作。『悲情城市』でヴェネツィア国際映画祭の金獅子賞を受賞した台湾の名匠・侯孝賢が監督・脚本を務め、随所に小津の『東京物語』へのオマージュを散りばめつつ、台湾人の母を持つフリーライター・陽子の日々の暮らしを淡々と描く。2002年に「もらい泣き」でデビューし、本作が公開された2004年には「ハナミズキ」が大ヒットした歌手の一青窈が主人公の陽子役で女優デビューを果たしている。



監督:ヴィム・ヴェンダース
出演:山本耀司、
ヴィム・ヴェンダース
原題:Aufzeichnungen zu Kleidern
und Städten / Notebook on Cities and
Clothes
1989年/81分
西ドイツ・フランス合作
配給:東北新社

【4Kレストア版】

都市とモードのビデオノート

『PERFECT DAYS』のヒットも記憶に新しいドイツの巨匠ヴィム・ヴェンダースが、ボンビドゥーセンター(国立芸術文化センター)の依頼を受けて、ファッションデザイナー・山本耀司の仕事を追いかけたドキュメンタリー。フィルムカメラと8ミリビデオカメラの映像を織り交ぜ、1989年春夏のパリ・コレクションに向けた準備過程を克明に記録すると共にヴェンダースとの対話を通じて山本のファッションや仕事への哲学が語られる。

© Wim Wenders Stiftung 2014



監督:デヴィッド・ゲルブ
出演:小野二郎、小野禎一、
小野隆士、山本益博ほか
原題:JIRO DREAMS OF SUSHI
2011年/82分
アメリカ/英語字幕
配給:トランスフォーマー

二郎は鮓の夢を見る

銀座の名店「すきやばし次郎」の店主で寿司職人の小野二郎氏に密着したドキュメンタリー。オバマ大統領の来日時のお食の場として使用され、ハリウッドセレブにも多くのファンがいることでも知られる名店「すきやばし次郎」。その店主で「ミシュラン三つ星レストランの最高齢料理長」としてギネス認定もされた二郎の職人としての哲学、師に学び、超えようと精進する2人の息子や弟子たちとの関係性を描き出す。

© 2011Sushi Movie.LLC

【スペシャル・スクリーニング】(ホームムービー特別上映会)

あなたの東京、わたしの東京

家族の記録、地元のお祭り、散歩の風景など、地域や家庭に眠っていた8mmや16mmフィルムのホームムービーを上映。商業映画とはまた異なる、市井の作家の私人的視点が捉えた東京の記憶が、あなたに語りかけ、共鳴します。



監督:ソフィア・コッポラ
出演:ビル・マーレイ、スカーレット・ヨハンソン、ジョハンニ・リビシ、
アンナ・ファリスほか
原題:Lost in Translation
2003年/102分
アメリカ
配給:東北新社

ロスト・イン・トランスレーション

『ヴァージン・スーサイズ』に続くソフィア・コッポラの長編2作目で、アカデミー賞脚本賞を受賞した。CM撮影のために東京に滞在中の初老のハリウッド俳優と有名写真家の夫に同伴して東京に来たもののヒマを持って余している若い妻。異国で孤独と虚しさを抱えたアメリカ人男女の心の交流を描く。“異邦人”の視点で切り取られた東京の街並みが印象的。渋谷のスクランブル交差点を世界中に知らしめた作品とも言われる。

© 2003 LOST IN TRANSLATION INC. ©2003, Focus Features all rights reserved



監督:ヴィム・ヴェンダース
出演:厚田雄春、笠智衆、
ヴェルナー・ヘルツォーク
原題:Tokyo-Ga
1985年/92分
西ドイツ・アメリカ合作
配給:東北新社

【2Kレストア版】

東京画

ヴィム・ヴェンダースが、敬愛する小津安二郎へのオマージュを込めて制作したドキュメンタリー。小津が描いた東京を求めヴェンダースはカメラを回し続ける。竹の子族やパチンコ、ビルの屋上のゴルフ練習場、食品サンプルをつくる工房、東京タワーの展望室、そして笠智衆、小津組の名カメラマン・厚田雄春へのインタビューなどを交えつつ、『東京物語』(1953年)からちょうど30年後の1983年当時、いまから約40年前の東京の風景が映し出される。

© Wim Wenders Stiftung 2014



(インテリア・デザイン)
監督:ミシェル・ゴンドリー
出演:藤谷文子、加瀬亮ほか
(メルド)
監督:レオス・カラックス
出演:ドゥニ・ラヴァン、ジャン＝
ランソワ・バルメールほか
(シェイキング東京)
監督:ボン・ジュノ
出演:香川照之、蒼井優ほか
原題:TOKYO
2008年/110分
フランス・日本・韓国合作
配給:ビターズ・エンド

TOKYO!

クリエイティビティあふれる3人の鬼才が東京を舞台に紡ぎ出した3編の物語。ファンタジー(ミシェル・ゴンドリー監督『インテリア・デザイン』)に不条理劇(レオス・カラックス監督『メルド』)、ラブストーリー(ボン・ジュノ監督『シェイキング東京』)と、それぞれの監督の持ち味が存分に発揮されたオムニバスとなっている。エンディングテーマで流れるのは高橋幸宏×細野晴臣×坂本龍一によるHASYMOの「Tokyo Town Pages」。

© 2008 [TOKYO]!